





同盟 寫眞ニユース 第一號

◎近歩四聯隊軍旗祭

慰靈祭と共に盛大に

(東京十一年五月廿四日)

先に軍旗拜受五十年記念塔を建設した近衛歩兵第四聯隊の第五十回軍旗拜受記念戦病歿者慰靈祭は廿四日青山の同隊營庭で原田聯隊長以下參列の上盛大に舉行、午前中の慰靈祭に次で午後は餘興に移つたが恒例の兵士餘興は時節柄とあつて行はれず玄人の漫談やレヴューに興じて營庭内は終日大賑ひだつた

(寫眞は軍旗祭)









◎背囊行進競技會

(東京)十一年五月廿四日

初夏のハイキングには少し暑くるしい背囊行進競技會が廿四日Y.M.C.A.の主催で行はれた主催側から渡された一貫五百匁の物を背負ひ一行五十名京王沿線國領のY.M.C.A.憩ひの家を午后二時頃出發、神田の協會まで十四哩の強行軍を續け午后五時頃へトへトになつて到着した

寫眞は

一國領附近にて









同盟 寫眞ニユース 第一號

◎棋聖伊藤宗印記念碑

(東京) 十一年五月廿五日

幕末から明治初期にかけて棋聖と仰がれた第十一世名人伊藤宗印の碑が棋界興隆の秋弟子達に依つて小石川音羽の護國寺内に建設され廿五日午前十時から故名人の一族はじめ各方面の名士が集り盛大な除幕式を擧げた

一、寫眞は除幕式(起てるは坂本~~之~~之助氏)

之助







同盟 寫眞ニュース 第三號

◎ マーフィン提督 國神社參拜

(東京) 十一年五月二十六日

廿五日横濱に入港した米國軍艦オーガスタ號  
搭乗のマーフィン大將は廿六日午前十時長谷  
川海軍次官のオーガスタ號答訪を受けた後同  
十一時十五分國神社參拜花輪を供へ午后零  
時卅分アメリカンクラブ午餐會、同八時オ  
ガスタ號乗組士官歡迎晚餐會が帝國ホテルに  
開かれ大角、野村兩大將、長谷川次官、田結  
大佐出席盛會を極めた

寫眞は

一 國神社參拜







◎眞空のガラス箱の中に

永久に 眠る元帥の銀髪

|| けふ三笠艦上の盛儀 ||

(横須賀) 十一年五月二十六日

日本海々戰第卅一週年を迎へ故東郷元帥の武勳とならび國民教化の靈艦として崇めらるゝ横須賀軍港白濱海岸の軍艦三笠の上甲板に於て廿六日午前十一時から故東郷元帥の遺髪を永久に安置する儀式が三笠保存會が主となつて壯嚴に舉行された、故東郷元帥の遺髪は同艦後部上甲板に設けられた祭壇に安置され三笠保存會副會長東郷安男爵ほか刑部主計中將以下役員が列席來賓としては米内横須賀鎮守府司令長官ほか古市工廠長、前原航空廠長其他海軍諸將星鈴木東京灣要塞司令官が參列した寫眞は

一東郷吉太郎中將拜禮と參列者









◎「不滅の大勝」を偲ぶ  
戒嚴令下の海軍記念日

(東京) 十一年五月廿七日

新緑に細雨煙る五月二十七日、けふぞ第三十  
一回海軍記念日、戒嚴令下とはいへ帝都には  
恒例の海軍軍樂隊の街頭行進、天覽相撲の華  
やかさはないが「海國日本」の誇りを世界に  
宣揚した光輝ある日を祝ふ種々の慶祝の催し  
が行はれた、午前七時五十七分からA・Bで  
は横須賀軍港内のわが海の精銳一萬噸巡洋艦  
鳥海艦上にマイクを移し想ひ出の記念軍艦旗  
掲揚其他記念式の實況を全國に放送し由緒深  
い東郷小學校の全児童は午前八時三十分麴町  
上六番町の故元帥舊邸に赴き玄關前に整列、  
故元帥の寫眞を飾つて敬禮、正午芝公園の水  
交社では海軍内で極く内輪だけの祝賀會が行  
はれた  
寫眞は  
一 東郷元帥邸の拜禮  
一 水交社の祝賀會







同盟 寫眞ニユース 第二號

◎首相兩院議員を招待

(東京) 十一年五月廿七日

廣田首相は廿七日閉院式を終了したので恒例により同日正午近衛、富田、松平、岡田兩院正副議長を始め各議員、長、田口兩院書記官長以下各書記官及政府委員一同を首相官邸に招待し慰勞の午餐會を開催、主人側として廣田首相以下各閣僚、藤沼書記官長、次田法制局長官、吉田調査局長官列席、首相の挨拶に對し近衛貴族院議長の謝辭があり午後一時過ぎ散會した

寫眞は

一、首相官邸にて







◎雨の迎へも悲し

館山樓の英靈還る

(東京) 十一年五月廿八日

去る廿二日間島にて墜落悲愴な殉職を遂げた  
館山海軍攻撃機の搭乗者知久航空兵少尉を始  
め森田仁平、五十嵐金次郎、松本好美、駒江  
巧、佐藤勝永、小島隆三の七氏の遺骨は細雨  
に煙る廿八日朝七時十分東京驛着列車で悲し  
い凱旋をした、驛頭には日本航空本部長、故  
知久少尉の遺族を初め各殉職者の遺族関係者  
等約三十名の出迎へがあり、七つの英靈を圍  
んで今更に涙新たなものがあつた、遺骨は驛  
で休憩の後兩國驛より館山に向け出發、同十  
一時三十二分北條驛着懷しの原隊に歸還した  
寫真は

一、東京驛にて







◎米國亞細亞艦隊司令長官謁見

(東京) 十一年五月廿八日

此度來航した米國亞細亞艦隊司令長官、オ  
リン・ダルト・マーフィン提督は參謀長ウツ  
ドソン大佐、艦長ガイジャツクス大佐を從  
へ大使館附武官ロツヂャーリスト大佐と共に  
ダルー大使に同伴され廿八日午前十時參内  
同十五分鳳凰閣に於て天皇陛下に謁見仰付  
けられ來朝の挨拶を言上敬意を表し奉り優  
渥なる御言葉を拜して懇懼して御前を退下  
更に同提督は夫人同伴皇后陛下に謁見仰付  
けられ十一時頃宮城を退下した  
寫眞は

一向つて右から米大使、マーフィン夫人  
マーフィン提督(於米國大使館)







◎兩院議員並に閣僚に賜謁

豐明殿で午餐を賜ふ

(東京) 十一年五月廿九日

第六十九特別議會は廿七日を以て滞りなく閉院式を舉行されたので畏くも天皇陛下には閣僚並に貴衆兩院議員等の勞を犒はせらるる思召により廿九日拜謁に引續き酒饌下賜の御沙汰あらせられた、よつて廣田首相以下各閣僚近衛、富田、岡田貴衆兩院正副議長を始め兩院議員、長、田口兩院書記官長以下各書記官及び政府委員はフロックコート又はモーニングに威儀を正し午前十一時三十分までに坂下門より參内宮中正殿に整列するかくて天皇陛下には同五十分通常禮裝を召され松平宮相、鈴木侍從長、宇佐美侍從武官長其他を從へさせられ正殿に出御一同に列立拜謁仰付けられ入御遊ばされた終つて諸員は豐明殿及び千種間に於て午餐を賜はり光榮に感激午后一時頃前後して宮中を退下した

寫眞は

一 無産議員參内

一 宮城前廣場

一 退下















◎濟寧館武道大會第一日

(東京) 十一年五月三十日

青葉爽やかな大内山の靜寂を破つて、こゝ宮城濟寧館に劍光相磨して裂帛の氣聲揚る昭和尙武の大繪巻が繰り展げられた。三十日午前八時から催された皇宮警察部主催恒例の武道大會第一日劍道試合の盛觀である。日頃練磨の皇宮警察部員は勿論全國から撰りすぐつた劍士は必勝の意氣に集ひ、その間に混つて花のやうな紅顔可憐の少年劍士も耳朵を紅潮させてけふの榮へに血躍らず、午后から畏くも武徳會總裁におはす梨本宮守正王殿下並に李鍋公殿下台臨熱心に御台覽あらせられた

寫眞は

一、濟寧館にて







◎聖將逝いて正に三週年

盛大な例祭執行

(東京) 十一年五月卅日

一世の聖雄東郷元帥逝いて早くも滿二年今日  
卅日の三周年命日を迎へて全国各地の東郷會  
を始め小學校、青年團、婦人會等では夫々集  
りを催して故元帥の偉徳を偲んだが東郷縣の  
地元を誇る麴町區では三番町、中六番町、九  
段四丁目の三町會が東郷元帥記念會と合同午  
前九時半から元帥邸表玄關前に盛大な例祭を  
執行した、主催者側から記念會長坂谷芳郎男  
刑部常務、評議員列席、加藤寛治大將、小笠  
原長生子、長谷川海軍次官、東郷小學校生徒  
各學年代表百名、大妻高女生百二十名其他麴  
町在郷軍人會海軍部員、婦人會員等參列した  
寫眞は

一、東郷元帥邸にて







同盟 寫眞ニユース 第一號

◎オリムピック水上豫選

(東京) 十一年五月卅一日

オリムピック豫選最終日の三十一日は氣温十七度、水温十八度三、降雨甚だし

寫眞は

一四〇〇米男子決勝







同盟新聞ニユウス (番外)

◎首相久振りの週末旅行

(東京) 十一年五月卅一日

特別議會に健闘の廣田首相は議會も終へてホ  
ット一息最初のウイーク・エンドを鷗沼の別  
莊にのんびり送ることとなり卅日午後二時自  
動車で官邸を出て同三時二十分別莊に入り早  
速都塵を一下風呂浴びてサット洗ひ流し和服  
姿の瀟洒たるスタイルで庭前に降りたつた  
蕭條たる細雨、青葉に映えて一廣田としての  
氣分を満喫一日朝歸京の豫定

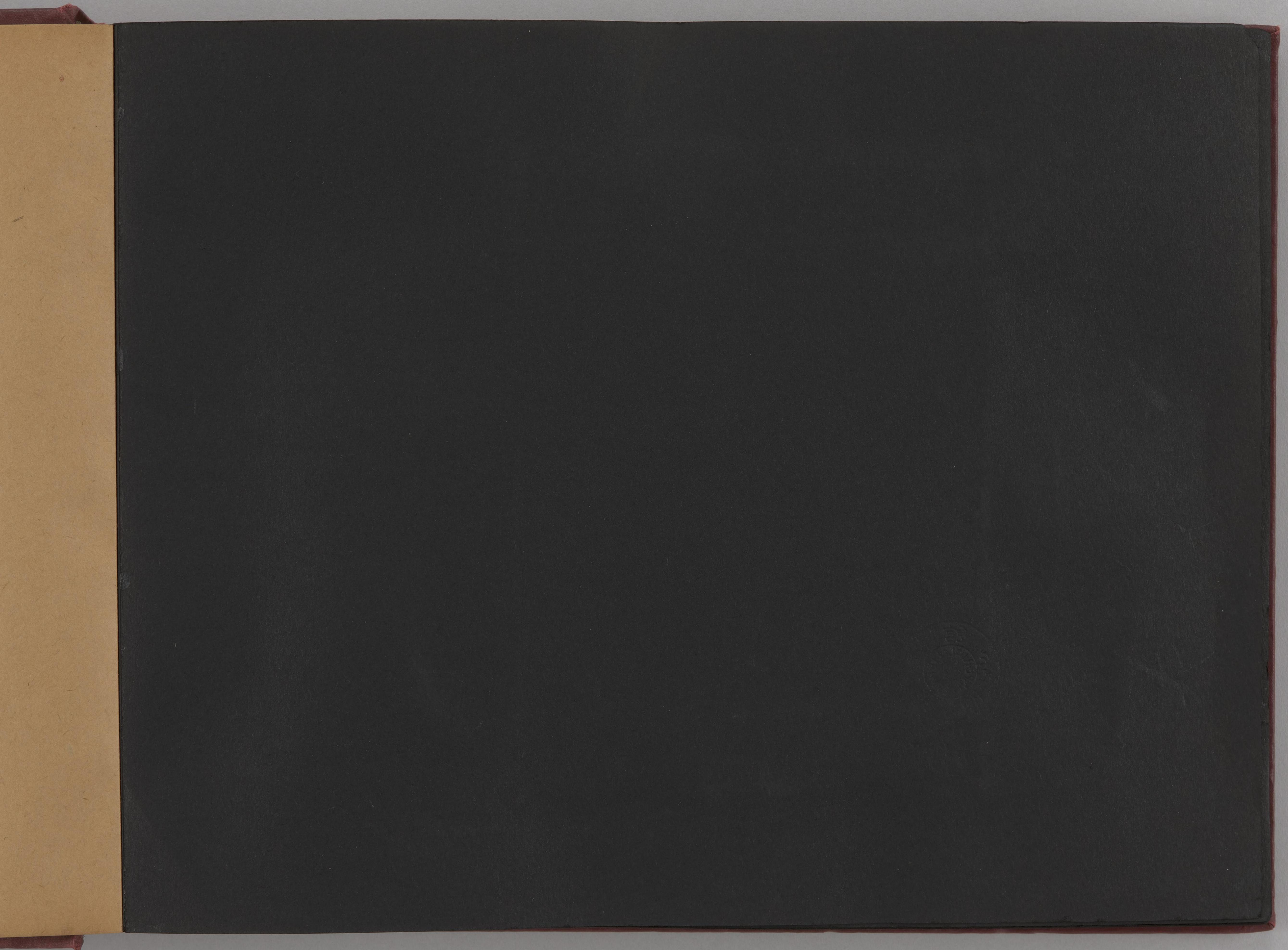
寫眞は

一、庭園散策の廣田首相

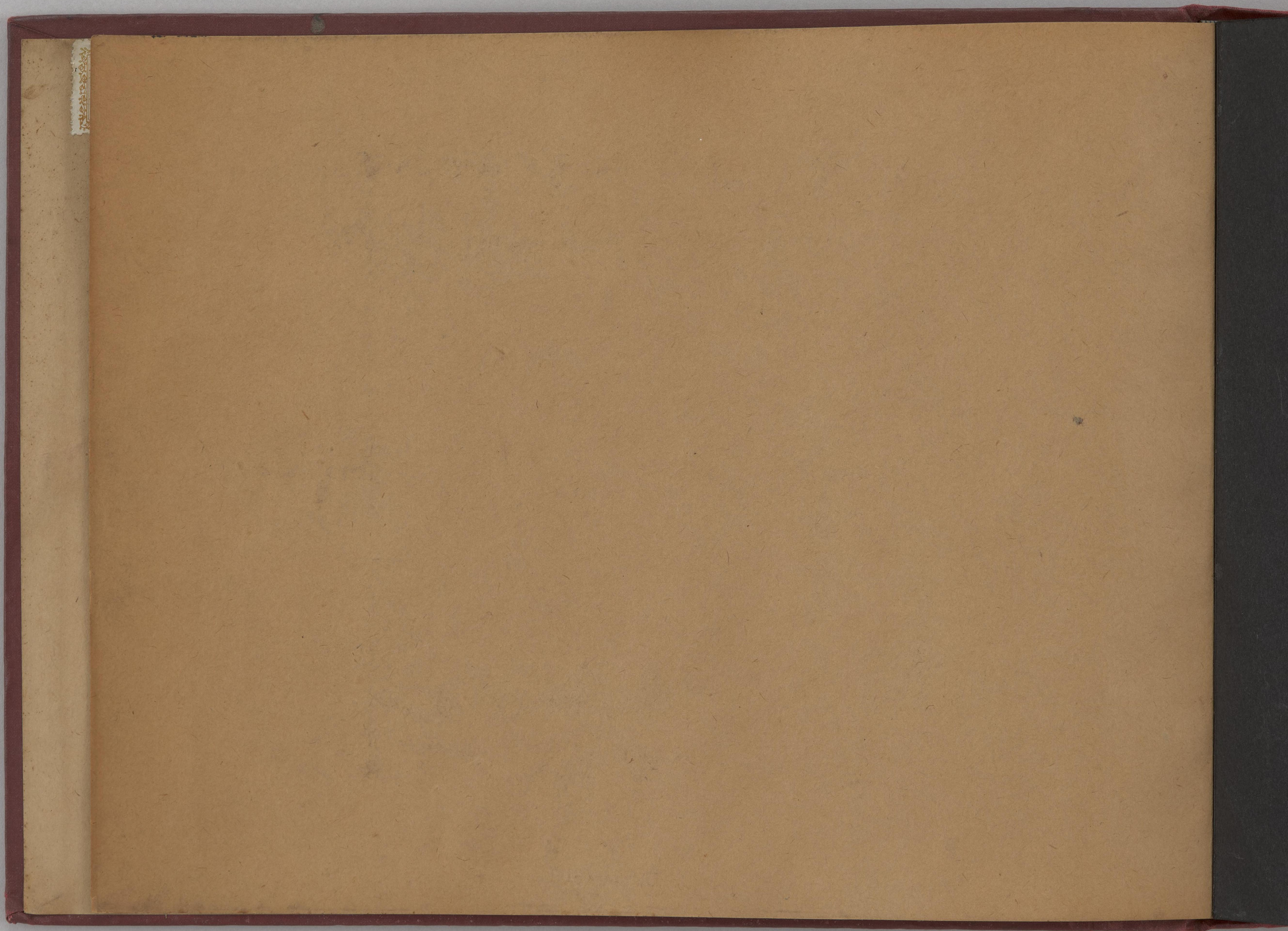




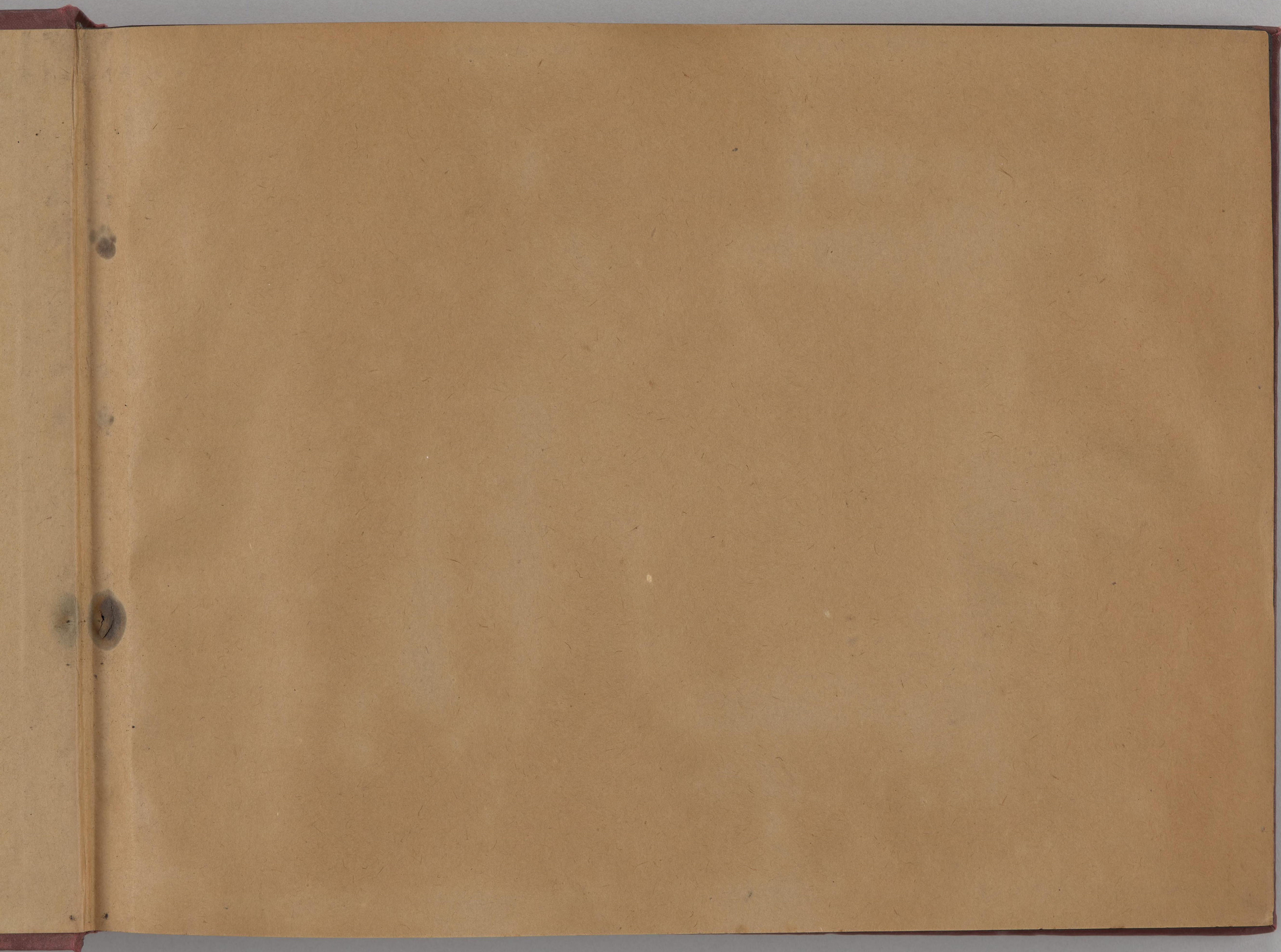














53  
雜  
52





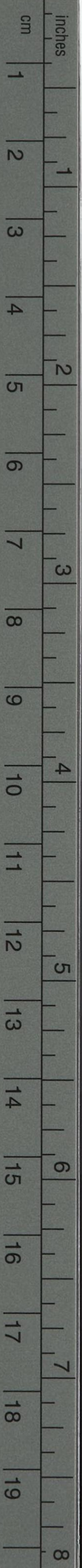


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

**A** 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

